

氏名

フハラ	マヨ
福原	正代

所属	九州歯科大学・総合内科学分野		
職名	教授		
最終学歴	九州大学医学部医学科	学位	博士（医学）

専 門 分 野		
教 育 実 績	担当講座名称	単位数 講義時間数 実習時間数 学科・院の別
	内科学Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ	4 単位 36.0 時間 時間 歯学科
	内科学Ⅴ	2 単位 30.0 時間 時間 歯学科
	内科学入門	2 単位 30.0 時間 時間 大学院
	高血圧患者の診かた クリニカルクラークシップ	2 単位 30.0 時間 時間 大学院 単位 時間 200.0 時間 歯学科
大学運営における主な 役職履歴（過去5年間）	副院長（附属病院）、薬事部会長、大学院教務部会委員、内科科長（附属病院）	
研 究 分 野		口腔と全身の健康、生活習慣病
研究課題	課題名	口腔と全身の健康との関連。 福岡県85歳追跡調査における咀嚼能力・現在歯数と、認知症および動脈硬化の関係。 肺炎死亡予測因子としての反復唾液嚥下テストの意義：福岡県8020追跡コホート研究。 口腔状態および栄養摂取と全身状態に関する調査：職域コホート研究。 生活習慣病の疫学。 心血管病発症予測因子としての脈波伝播速度。 頸動脈の動脈硬化病変の進行と心血管病発症の予測因子としての家庭血圧の意義。
	キーワード （5つまで）	生活習慣病、高血圧、心血管病、歯科
	共同研究等の 実績	8020研究 久山町研究 口腔と全身の健康調査：職域コホート
研 究 業 績 （著書・発表論文等） （最新の5編）	Komorita Y, Ide H, Yoshinari M, Ohta Y, Nakamichi I, Fujisawa R, Fujii W, Fukuhara M. Decreased serum creatinine to cystatin C ratio is associated with low tongue pressure. <i>Geriatrics & Gerontology International</i> . 24(1):102-108, 2024.	
	Ohta Y, Fukuhara M, Fujisawa R, Kanesaki M, Tsuruta H, Nakamura H, Kawano Y. Influence of blood pressure variations during hemodialysis on the prognosis of dialysis patients. <i>Clin Exp Hypertens</i> . 45(1):2236336, 2023.	
	Ohta Y, Yamaguchi M, Yoshimoto M, Kanesaki M, Nosaka H, Tsuruta H, Nakamura H, Fukuhara M, Kawano Y. Relationship between salt intake and sleep disordered breathing in dialysis patients. <i>Clin Exp Nephrol</i> . 25(12):1354-1359, 2021.	
	Izumi M, Sonoki K, Ohta Y, Fukuhara M, Nagata M, Akifusa S. Tongue cleaning maintains respiratory function in older individuals: A 1-year randomised controlled trial. <i>J Oral Rehabil</i> . 48(6):730-737, 2021.	
Kawashima Bori F, Fukuhara M, Masaki C, Ohta Y, Nakamichi I, Sakata S, Goto K, Kataoka S, Kakuta S, Iwasaki M, Ansai T, Hosokawa R. The relationship between masticatory performance and intakes of foods and nutrients in Japanese male workers: A cross-sectional study. <i>J Oral Rehabil</i> . 47(9):1142-1149, 2020.		
産学官連携実績 （主要3件）	なし	
産学官連携 可能・希望分野		
取得した実用新案特許等 （主要5件）	なし	
所 属 学 会 （主要5件）	日本内科学会、日本循環器学会、日本高血圧学会、日本脳卒中学会、日本疫学会	